

答え合わせ・解説

問1	答え 1 兼ねる	「大は小を兼ねる」の続きは「兼ねる」です。意味は「大きいものは小さいものの代わりにもなるので、役に立つ」です。
問2	答え 4 祭り	「後の祭り」の続きは「祭り」です。意味は「時期を逃してしまい、手遅れであること」です。
問3	答え 4 幼い頃に身についた習慣や癖は、年をとってもなかなか抜けない	「雀百まで踊り忘れず」は「幼い頃に身についた習慣や癖は、年をとってもなかなか抜けない」という意味です。
問4	答え 1 他人の権力を利用して、いばり散らす者のたとえ	「虎の威を借る狐」は「他人の権力を利用して、いばり散らす者のたとえ」という意味です。
問5	答え 4 害ばかり多くて、少しも利益がないこと	「百害あって一利なし」は「害ばかり多くて、少しも利益がないこと」という意味です。
問6	答え 1 事が起きてから慌てて準備をすること	「泥棒を見て縄を絞う」は「事が起きてから慌てて準備をすること」という意味です。
問7	答え 2 鬼はない	「渡る世間に鬼はない」の続きは「鬼はない」です。意味は「世の中には冷酷な人ばかりではなく、親切な人もいるものだ」です。
問8	答え 3 道理引っ込む	「無理が通れば道理引っ込む」の続きは「道理引っ込む」です。意味は「理屈に合わないことがまかり通るようになると、正しい道理が行われなくなる」です。
問9	答え 1 病気を治す専門家なのに、自分自身の健康には無頓着であること	「医者の不養生」は「病気を治す専門家なのに、自分自身の健康には無頓着であること」という意味です。
問10	答え 2 短	「帯に短し襷に長し」の「短」の部分が入ります。意味は「中途半端で、どちらの用途にも合わず役に立たないこと」です。
問11	答え 4 桶屋が儲かる	「風が吹けば桶屋が儲かる」の続きは「桶屋が儲かる」です。意味は「一見関係なさそうなことが、意外なところで影響し合うこと」です。
問12	答え 3 打たれる	「出る杭は打たれる」の続きは「打たれる」です。意味は「才能があつたり目立ったりする人は、とかく人から憎まれたり邪魔されたりする」です。
問13	答え 1 教養があり徳の高い人は、自分から危険な場所には近づかないものだ	「君子危うきに近寄らず」は「教養があり徳の高い人は、自分から危険な場所には近づかないものだ」という意味です。
問14	答え 4 鼠一匹	「大山鳴動して鼠一匹」の続きは「鼠一匹」です。意味は「大騒ぎした割には、結果がとて小さくつまらないこと」です。
問15	答え 1 幸福と不幸は交互にやってくるもので、予測できない	「禍福はあざなえる縄のごとし」は「幸福と不幸は交互にやってくるもので、予測できない」という意味です。
問16	答え 2 跡を濁さず	「立つ鳥跡を濁さず」の続きは「跡を濁さず」です。意味は「立ち去る時は、後始末をきちんとしておくべきだ」です。
問17	答え 4 一度悪事に手を染めたら、最後まで徹底的にやるしかない	「毒を食らわば皿まで」は「一度悪事に手を染めたら、最後まで徹底的にやるしかない」という意味です。
問18	答え 4 二つのものを同時に得ようとして、結局どちらも得られないこと	「虻蜂取らず」は「二つのものを同時に得ようとして、結局どちらも得られないこと」という意味です。